

建築学ぶ大学生 現場の空気肌で

静岡で見学会

県は17日、建築を学ぶ地元大学生向けの工事現場見学会を静岡市清水区の日本平山頂シンボル施設建築現場で開いた。静岡理工科大学や静岡文化芸術大学の学生計34人が業界への理解を深めた。

学生たちは県職員や施工業者の案内で鉄骨3階建ての施設を巡った。

「静岡どぼくらぶ」の一環で、次世代の担い手確保を目的に実施した。

た。正八角形の外観、富士山や清水港の眺めを楽しめる展望フロアなどを視察。外国人観光客の増加が見込まれる中で整備される施設の概要や機能を確認した。地盤調査や配筋、コンクリート打設、鉄骨工事などこれまでの経過も学んだ。

県が取り組んでいる



大学生が日本平シンボル施設建築現場を訪れた見学会
＝17日午前、静岡市清水区